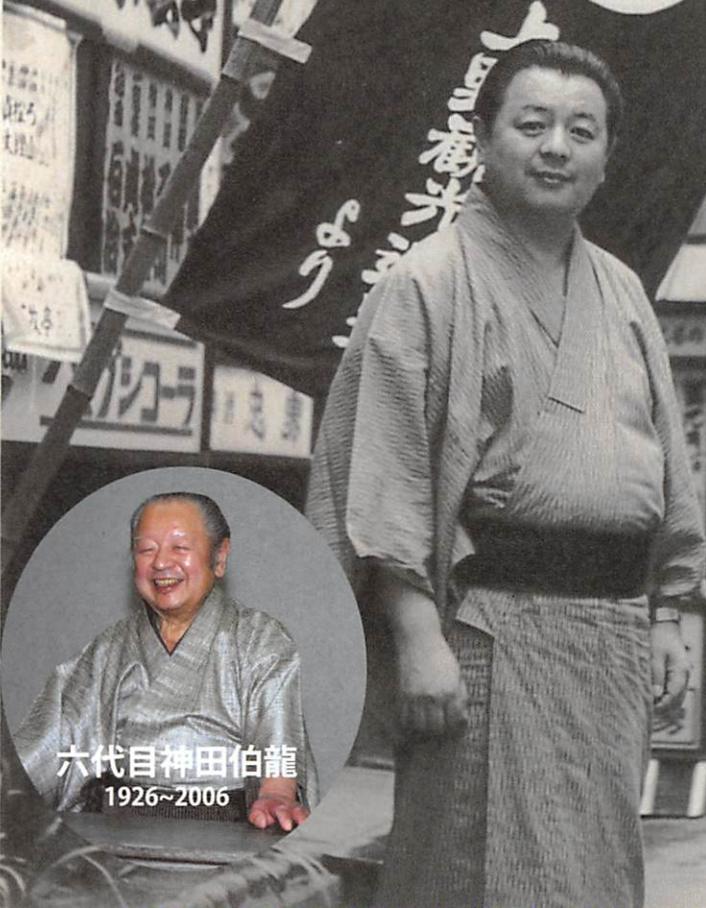


最後の講釈師・六代目神田伯龍の生誕100年と没後20年を記念してゆかりの名手が集います。

神田伯龍 生誕百年 演芸会



六代目神田伯龍
1926~2006



笹川の花会

京山孝枝若
曲師・藤初雪

《三注》人間国宝



寶井孝柳



東家一太郎
曲師・東家美

浪曲と講談による『祐天吉松』リレー口演



片岡一郎



坂本頼光

弁士二名による掛合『映画説明』



立川談之助



桂八十八



入船亭扇蔵

落語三競演

2026年6月28日(日) 会場 月島社会教育会館ホール
全席自由 午後1時開演(12時半開場) 午後4時終演予定 ご入場料金 前売4,000円(税込) 当日4,500円(税込)

制作：有限会社宮岡博英事務所

御問合せと御予約は

メールでも SMSでも

ご入場は弊社発行チケットの番号順になります。
チケットぴあ/Pコード(540-296) チケットぴあの販売価格は異なります。ぴあご購入者は入場が後になります。

Tel/046 876 9227



やむを得ない事情により出演者が変更になる場合もございます。出演者の変更による払い戻しはいたしません。

いよいよ春の訪れを感じる季節となりました。弊社制作公演『神田伯龍生誕百年演芸会』のご案内です。

二〇二六年は講師師、六代目神田伯龍が没して丸二十年、そして生誕百年を迎える節目の年です。

六代目神田伯龍は、大正十五年六月二十三日に大森海岸に誕生。名人五代目神田伯龍に入門。昭和二十二年四月に満二十歳の若さで四代目神田伯治を襲名して真打昇進。昭和五十七年四月に六代目神田伯龍を襲名。二〇〇六年十一月十七日没。死の三か月前まで高座に上がりました。

空板(からいた)客入りの前から修羅場を読む前座より下の身分)を経験した最後の講師師。特に江戸市井の人々を描いた『世話講談』は傑出しておりました。読み口は上品。講談本来の美点である語彙の豊富さ、比喩と諧謔の巧みさに魅力がありました。現在の主流である口調は力みっぱなし、張扇をやたらと叩きまくる講談とは正反對のものです。

桂米朝師匠は「あの人の価値を認める点では人後に落ちぬつもり」と讃じ、立川談志師匠は「最後の世話読み、神田伯龍」とその死を嘆きました。しかし生前に正当な評価を得ていたとは言えません。そんな状況

でも伯龍独演会に通ってくれた片岡一郎、東家一太郎が今回は出演者として参加してくれます。

片岡一郎は、坂本頼光と共演し弁士二名による掛合(映画説明)を披露。滅多にお目にかかれないスタイルです。

伯龍十八番の世話講談『祐天吉松』を当会では浪曲の東家一太郎(曲師は東家美)と講談の寶井琴柳によるリレー形式で上演します。これも必聴の組合せです。

伯龍とは選挙遊説仲間である立川談之助、桂米朝師匠の香を今に伝える桂八十八が助演。伯龍独演会の前座を長く務めてくれた入船亭扇蔵は吉川英治の『宮本武蔵』を落語にして口演します。

そして主任(トリ)は浪曲の人間国宝、京山幸枝若です。故人伯龍もレパートリーに持っていた天保水滸伝より『笹川の花会』を演じてもらいます。このように幸枝若には多くの関東のネタがあります。

このネタも今やラジオ・テレビではNGという妙な時代になりました。主人公の洲崎の政吉が結構強気に出るところが講談との大きな違いで、幸枝若の痛快な啖呵をお楽しみ下さい。曲師は藤初雪。ご来場をお待ちしております。

*公演中の無断撮影、無断録音は固くお断りしております。
*補聴器をご使用のお客様は、装着が不完全な場合、高い機械音(ハウリング音)を発する場合があります。
ご自身の耳に隙間なく装着されているかを必ずご確認ください。



神田伯龍 小猿七之助 通し公演 CURELLE0024/0030-2(7CD) 7000円(税別)

2002年から2004年のライブで、伯龍が病を得る前で、声にもハリがあります。発端にあたる、「綱打七蔵」、「永代橋」、「綱打因果噺」は既出のCURELLE0002-2(2005年7月27日ライブ)とは別テイク。ボーナストラックは立川談志への稽古録音。



CURELLE RECORDS
カタログはこちら



地下鉄 ●月島 徒歩約5分 都営大江戸線・東京メトロ有楽町線
都バス ●月島三丁目 徒歩約1分
江戸バス(コミュニティバス) ●月島区民センター 徒歩約1分

＜月島社会教育会館のご案内＞
104-0052 東京都中央区月島4丁目1番1号
(月島区民センター4階、5階)
電話：03-3531-6367